

報告日 令和7年10月10日

報告回次 2日目

令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	朝霞市			代表者名	松下 昌代
担当者部署(属性)	情シス担当	担当者部署名	総務部デジタル推進課	連絡先電話番号	048-463-1274
担当者役職	係長	担当者氏名	大石 守	連絡先E-mail	
住所	351-8501 埼玉県朝霞市本町一丁目1番1号				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署			
担当者氏名		連絡先電話番号		連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	具体的課題への支援	事業名	デジタル推進事業（生成AI活用促進）		
概要	検討段階である生成AIの活用に関して、幹部職員の生成AI活用に関する理解を深める研修を実施していただきたい。				
支援を求める分野	人材（DX推進のための機運の醸成） 生成AI活用				

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1.

対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和7年10月7日	講演(実地)	14時00分	16時00分	
				活動時間（分）	120

2-2.

派遣場所	会場名	朝霞市役所	最寄駅	朝霞駅
	所在地	埼玉県朝霞市本町一丁目1番1号	最寄駅からの交通手段	徒歩

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	佐藤 泰格
評価	大変良い
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	生成AIをLGWAN回線で活用できるプラットフォームを民間企業と開発し、先進的に生成AIを活用している豊富な知見があるため、生成AIの基礎知識や自治体での活用事例を生成AIに不慣れな者でも非常にわかりやすく解説していただいた。また、受講者も一緒に体験することで生成AIができることを目の当たりにし、感銘を受けていた。研修終了後には「2時間の研修では物足りなかった」、「他の職員にも研修を実施してほしい」という声が寄せられた。
アドバイザーへの要望事項	引き続き本市の支援を引き受けていただきたいです。

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者

属性	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】		合計人数	17人
	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
人数	17			

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	本市における生成AIの活用は担当課での検討段階に留まっているのが現状である。本市においても生成AIの活用検討を更に推し進めていくことが不可欠であることから、庁内の機運醸成のために幹部職員の理解促進を深めることが課題と考える。
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	幹部職員に向けた生成AI活用研修を実施し、生成AIに関する幹部職員の理解促進を深めることで生成AI活用に向けた庁内の機運を醸成する。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的に記入下さい)	ハンズオン形式による2時間の生成AI活用に関する研修	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的に記入下さい)	アドバイザーの講義により、市幹部職員の生成AIに対する理解が大幅に向上した。実際の活用事例が示され本市での具体的な活用イメージの形成に大きく貢献した。また、実際の操作体験では、受講者が自ら生成AIを用いて簡単な文書作成や要約を行うことで、「これまで数時間かかっていた資料作成が数分で完了する可能性がある」という具体的な効果を実感した。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
	幹部職員の生成AIに対する理解が大きく深まり、生成AI活用に向けた機運が大きく高まったと認識している。	
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的に記入ください)	幹部職員だけでなく全職員の生成AIに対する理解を深める必要がある。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果について記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)	
	アンケートを行わなかった場合はその理由を記入下さい。 受講者が幹部職員かつ少人数であったためアンケートは、実施しなかった。個別に感想を聞いた結果、「生成AIの活用が市の業務改善に有効である」、「すぐにでも利用を始めたい」といった声がほとんどであった。	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する
	生成AI活用研修を実施し庁内の機運を醸成するとともに、トライアル実施等の検討を進めていき令和8年度からの本格導入を目指す。	
4-4. 事業の最終的な目指す姿	生成AIを本格導入し順次、業務に適用し、限られた人員で質の高い行政サービスを維持するとともに創造的で付加価値の高い業務に職員が注力することで本市のデジタル化を一層推進し、更なる市民サービスの向上、行政事務の効率化を図り住民の幸福の維持につなげる。	

5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可		https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/
掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可	
<div>なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください</div>		

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子
今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG等)」を数枚程度貼り付けて下さい。

